



2・3年生のみなさんは新年度がスタートしました！1年生のみなさんは入学おめでとうございます❀今年度最初の図書館だよりです(^)/今年度も、みなさんが「この本読んでみたい！」と思えるような本の紹介をたくさん行っていきますので、よろしくお願ひします♪



## ☆2020年本屋大賞が発表☆

今月7日に2020年本屋大賞が発表され、大賞には尻良ゆうさんの『流浪の月』が選ばれました！この作品は図書館でも購入予定なので、どうぞお楽しみに(\*´艸`)



『流浪の月』

尻良 ゆう【著】 (東京創元社)



あなたと共にいることを、世界中の誰もが反対し、批判するはずだ。わたしを心配するからこそ、誰もがわたしの話に耳を傾けないだろう。それでも文、わたしはあなたのそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描き、実力は作家が遺憾なく本領を発揮した、息をのむ傑作小説。



## \*おたずねです…\*

以下の5冊の本が、返却BOXや学級文庫の箱に紛れ込んでいました(˘\_˘)心当たりのある人は、図書館まで必ず来てください！

- ① じぶんの花を (相田 みつを)
- ② 新参者 (東野 圭吾)
- ③ 夜のピクニック (恩田 陸)
- ④ オックスフォード&ケンブリッジ大学 世界一「考えさせられる」入試問題 (ジョン・ファードン)
- ⑤ 父・こんなこと (幸田 文) ← 武雄市立図書館の本です!

## 《新着図書案内》

### 『線は、僕を描く』

砥上 裕将【著】（講談社）



両親を交通事故で失い、喪失感の中にあつた大学生の青山霜介は、アルバイト先の展覧会場で水墨画の巨匠・篠田湖山と出会う。なぜか湖山に気に入られ、その場で内弟子にされてしまう霜介。それに反発した湖山の孫・千瑛は、翌年の「湖山賞」をかけて霜介と勝負すると宣言する。

水墨画とは、筆先から生みだされる「線」の芸術。描くのは「命」。

はじめての水墨画に戸惑いながらも魅了されていく霜介は、線を描くことで次第に恢復していく。

### 『客室乗務員の誕生』

山口 誠【著】（岩波書店）



日本独自の発展を遂げ、就職先として盤石の人気を誇る「CA」。我々はそこにどんな期待を投影してきたのか。エアガール、エアホステス、スチュワーデス…呼称／役割ともに変遷してきた日本の客室乗務員の歴史を通観し、接客マナーと「自分磨き」の技法と思考が、独特な「おもてなし」の源流となっていく過程を考察する。

❀このほかにもたくさんの新着図書がありますので、ぜひ図書館まで！

## ◆新任の先生方のおすすめの本◆

### ① 『動的平衡』

福岡 伸一【著】（木楽舎）

#### ＜おすすめポイント＞

「記憶とは何か」、「年をとると時間が短く感じるのはなぜか」など生命の神秘について書かれている。理系必見。本校図書館にあります。



### ② 『ソウル・サーファー～サメに片腕を奪われた 13 歳～』

ベサニー・ハミルトン【著】（ヴィレッジブックス）

#### ＜おすすめポイント＞

片腕をサメに奪われながらも、生きることを諦めなかった 13 歳の少女に関する実話。辛い時や苦しい時、一歩踏み出す勇気を貰える本です。

